

# 平成 26 年度第 1 回習志野市長長期計画審議会 議事録

日 時：平成 27 年 2 月 10 日（火曜） 10 時 00 分から 11 時 45 分まで

場 所：習志野市役所仮庁舎 4 階 委員会室

委員出席者：大島委員（会長）、木村委員（副会長）、斉藤委員、田中委員、央委員、清水委員、金子委員、鯨井委員、廣田委員、橋本委員、海寶委員、細川委員、越智委員、小池委員  
（欠席：大塚委員）

事務局出席者：諏訪企画政策部長、大矢企画政策部次長、真田企画政策課長、越川係長、川野係長、柴垣主任主事、徳岡主任主事

議 題：報告事項（1）後期基本計画の実績について  
（2）市内 3 大学の学生と習志野市長との意見交換会について

## 議 事 録：

開 会	
会長	<p>只今から、平成 26 年度第 1 回習志野市長長期計画審議会を開会致します。</p> <p>本審議会は習志野市長長期計画審議会条例第 5 条第 2 項の規定によりまして、委員の過半数の出席が要件となっておりますが、本日は 14 名の出席を頂いておりますので、本審議会は成立致しております。</p> <p>次に、本日の議事録の署名につきましては、私の方から指名させていただきたいと思っております。N 委員と D 委員にお願い致します。</p> <p>また、会議に先立ちまして、本審議会の公開・非公開につきましては、平成 17 年度第 1 回長期計画審議会において、原則公開と決した所ありますが、本日の傍聴者は 0 名ということですので、ご承知おき下さい。</p> <p style="text-align: center;"><b>報告事項(1)後期基本計画の実績について</b></p>
会長	<p>それでは議題に入りたいと思っております。本日は報告が 2 件ございまして、1 件目は「後期基本計画の実績について」でございます。</p> <p>お手元の資料の詳細につきまして、事務局から説明を頂き、その後、皆様からご質問、ご意見等を頂戴したいと思います。</p> <p>それでは、事務局よりご説明をお願いしたいと思います。</p>
企画政策課長	<p>それでは、後期基本計画の目標指標と実績につきまして、ご説明させていただきたいと思っております。資料 1 「後期基本計画の目標指標と実績」に従いましてご報告させていただきます。今回ご報告させていただきます各指標は、基本構想・基本計画の体系に基づきまして、各項に 1 つ以上設定され、それ</p>

平成 26 年度第 1 回習志野市長期計画審議会 議事録

	<p>ぞれの施策の成果を反映するものとなっております。また、達成率につきましては、目標値から計画策定時の実績を差し引き、この差をどれだけ埋めることができたか、ということパーセントで表しております。従いまして、計画策定時よりも悪い方向に推移したものはマイナスで表記されておりますし、目標を上回ったものは、100%を超える数値で表記されております。</p> <p>&lt;資料 1 及び資料 1-2 に基づき事務局より説明&gt;</p>
企画政策課長	<p>それでは御審議の程、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>それでは、只今、後期基本計画の目標指標について説明していただきましたが、何かご質問、ご意見等がございましたら、お願いいたします。</p>
A 委員	<p>重点指標 No. 1 の主要生涯学習事業参加者数のところですが、今後の対応方針の中にあります公民館講座というものなのですが、これは社会教育主事が策定している主催事業のことを指しているのかどうか、という質問なのですけれども。</p>
企画政策課長	<p>そのとおりです。</p>
A 委員	<p>それのみということですか。公民館でのサークル活動等は含むのですか。</p>
企画政策課長	<p>サークル活動は、この数字の中には入れております。</p>
A 委員	<p>その場合、指定管理者制度の導入となっておりますが、その指定管理者制度と主催事業の関係は今後どのようにお考えなのでしょうか。</p>
企画政策課長	<p>指定管理者制度を導入させていただいても、公民館の主催事業は残りますので、市の職員であります社会教育主事が行っているこれ以外の活動等も含めまして、新たな公民館の主催事業という発想になって、活動と言いますか、より集客があると考えております。</p>
A 委員	<p>そこが一番問題だと考えておまして、習志野市の公民館の主催事業の参加率というのは、他市に比べて非常に低いと思われまます。その低い状態をどのように高めていくのかということが課題だと思うのですけれども、指定管理者制度を導入することによって、高まるとは言えないかと思うのですが。</p>

<p>企画政策課長</p>	<p>どのようにして、たぶん 10% 台の参加率だったかと記憶しているのですが、いかがでしょうか。</p> <p>市としてはそのような状況の中で、様々な手法を試す中では、外部と言いますか、指定管理者による違った発想も必要だと期待しているところですので、他市の状況と比較し、原因追及もした中で、よりニーズに即した事業展開を進めたいというところがございます。</p>
<p>会長</p>	<p>A 委員の方から、具体的に例えば何かこういうところに問題があるのではないか、といったような、もしご指摘がいただければ、参考になるのかと思うのですがけれども、何かそういう案はあるでしょうか。他市と比べてなど。</p>
<p>A 委員</p>	<p>例えば他市と比べて社会教育施設の設置率というのが習志野市の場合は低い状況だと思います。それに対して生涯スポーツというのは、相当他市に比べて進んでいる事業だと思います。今、社会教育施設が他市に比べて総面積等が落ちている中で、今後も減らしていく方針が習志野市の方にあるかと思えます。</p> <p>それと、例えば他市でも問題となっております指定管理者制度を入れることによって、公民館の主催事業が伸びていないという現状がありまして、千葉市では今月の 2 月 22 日に、その問題について幕張の公民館で勉強会があるかと思えます。そのような状態を、他市の状態・取組を習志野市としても真摯に受け止めて、その方向性を検討する必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>面積についても詰めていく必要があるのではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>施設自体が少ないということでしょうか。あと実際にどうやって工夫していくのかというところでしょうか。</p> <p>他にどうでしょうか。</p>
<p>A 委員</p>	<p>コミュニティ施設との位置付けとも関連しておりますので、例えばコミュニティ施設も主催事業が行えるような状態に持っていくというのが一つの方法ではないかと思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>こちらについては、事務局の方ではいかがでしょうか。</p>
<p>企画政策部長</p>	<p>A 委員、ありがとうございます。</p> <p>今回の、公民館の 27 年度からの指定管理につきましては、実は習志野市</p>

	<p>では初めての取組になります。7 館あります公民館のうち、1 館だけ指定管理者に移管をしようとしております。しかしながら残り 6 館は直営のまま事業を推進させていただこうと考えておまして、指定管理をお願いする団体につきましても、公募で募集をして決めてきたということがあります。</p> <p>この中で、仕様書の中では、現行の市立の公民館の事業をきちんと踏襲すること、すなわち公民館講座については、社会教育主事を置いたうえで公民館講座を実施すること。それ以外のいわゆる独自事業については、指定管理者が創意工夫によって集客を図るといった仕様としております。そして 1 年ごとにそれぞれ事業の検証をした上で、3 年ないし 5 年の指定期間で更新をしていくという基本的な考え方でございます。</p> <p>そうした意味では、初めての取組ということもございますけれども、これらについて検証した中で、しっかり公民館としてのあり方については維持をしていく、あるいは拡充をしていくことを考えております。</p> <p>また、施設の集約という話においては、施設面積等はやはり公共施設を再生していく中では集約せざるを得ないと考えておりますが、その機能そのものは拡充を図る必要があると思っております。そして複合化するということによって、より大きな効果が得られる努力といったものはしっかりと実施をしていきたい、そういう風に考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>財政状況も厳しいという話も先程ありましたので、そのあたりの兼ね合いというところが難しいかと思っておりますが、ご努力よろしくお願ひします。</p> <p>他にございませんでしょうか。</p>
<p>A 委員</p>	<p>重点指標の 15 番、自主防災組織の組織率というところで、私も町会活動の防災活動は重要であると思ひまして、習志野市を調べさせていただいたのですが、活発に防災倉庫等を持って講習等を行っている町会と、全く手が付けない町会の差が非常に大きく感じました。</p> <p>そういう場合に、今後の対応方針の中に、自主防災組織の設立に向けた住民への意識啓発とありますけれども、どのように行政で町会に関わっていく予定なのかということについて、ご説明いただければと思ひます。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、ではよろしくお願ひします。</p>
<p>企画政策部長</p>	<p>自主防災組織につきましては、東日本第震災以降ですね、組織数自体は伸びているわけです。</p> <p>しかしながら、町会毎に必ず 1 組織というところまでには、まだ至っていない</p>

	<p>ということがございます。A委員の仰いますとおり、活動についても、少し温度差があるというのが現況でございます。</p> <p>行政側としては、1 つは、自主防災組織を設置していただく団体については、資機材等の補助をまずさせていただいております。</p> <p>例えば、防災倉庫に備蓄すべき資機材については、金額的に上限はございますけれども、設立時にそれぞれ補助金という形で援助させていただいております。</p> <p>また、実際に組織としても、どのように活動したらよいか、といったことも自主防災組織の皆様、お考えのこともあるかと思えます。</p> <p>そうした中で、既に 2 年を経過しておりますけれども、震災後、習志野市には危機監理監という職を置いております。危機管理監は、防災における統括的な立場で講演等も行っておりますし、危機管理課職員も、各自主防災組織あるいは町会に出向いて、町会ごと、いわゆる自助・公助・共助といったことについて、それぞれご説明等をさせていただきながら、組織率の向上に向けて頑張っているところです。土曜日曜、実は危機管理課の職員は、ほぼ毎週のように各町会へ出向きまして、お話を聞いたり、あるいはさせていただいたりというような活動をしております。</p> <p>また、社会福祉協議会のボランティアの皆様方とも連携しながら、各地域の訓練、そういったものを地域の皆様に見ていただくことを通しながら、特に自助という部分での啓発といったものに取り組んでいるところでございますので、今後もしっかりと取組を続けてまいりたい、このように考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>世帯数の大幅な伸びというのは、大型マンションや集合住宅がどんどん増えてということが原因でしょうかね。</p>
<p>企画政策部長</p>	<p>その通りでございます。</p> <p>特に大型マンション等ですと、いわゆる自治会という形になりまして、お住まいの方々が自主防災組織まで取り組むというのは傾向的に低いということがございますので、母数が増える割に組織率は上がらないということですね。</p>
<p>会長</p>	<p>マンションの中で、理事長とか理事とか、その中でいろいろなことはやっているけれども、防災というところにまで、余り配慮が至らないというところが出てきているのではないかと、ということでしょうかね。</p>
<p>企画政策部長</p>	<p>そうですね。</p> <p>新しく奏の杜地域で大きなマンションや住宅が開発されており、奏の杜全</p>

<p>会長</p>	<p>体をパートナーズというかたちで防災に取り組んでいただいておりますけれども、少し時間が経っている大型のマンション等については、なかなかお住まいの方のご意見がまとまらないといった傾向もあるようには伺っております。</p> <p>そういったところへの働きかけも必要なのではないかとということですか。</p>
<p>企画政策部長</p>	<p>はい。自治会として活動されているマンション等についてはお呼びがあればいつ何時でも伺ってお話をさせていただいております。</p>
<p>会長</p>	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>他には。</p>
<p>G 委員</p>	<p>先ほど A 委員からも話がありましたけれども、自主防災ですね、組織の発生率は言っていないのですけれども、習志野市はご存じのように本大久保 3 丁目支部の自主防災が総理大臣表彰をされているのですね。非常に輝かしい実績を持っていて、しかも模範的なのですから、本大久保 3 丁目、ホームタウンですね。</p> <p>自主防災組織の経過を見ますと、まず町会を 1 つの単位として行政の方も落としていると思うのですけれども、自主防災組織はですね、どちらかというと町会の役員は 1 年か 2 年毎に交代する面もありますのでね、自主防災組織は町会を基盤として独自に組織されているものですから、割合にスタッフが継続している。これは非常に良いことではないかと思うのですが、その辺は行政としては、住み分けされておられますか。</p>
<p>企画政策部長</p>	<p>今ご紹介がありました本大久保 3 丁目のホームタウン自治会の自主防災組織は、総理大臣表彰を受けております。その他にも様々な表彰を受けております。</p> <p>この団体の役員は、G 委員もおっしゃったように、町会の役員の皆様は 1 年ないし 2 年で交代されますが、自主防災組織を維持する役員の方々は、町会の役員をやめてもそこで継続して活動をしてくれるということで、繋がりをしっかりと保っていく努力をしてくれている。</p> <p>そういう意味では、ホームタウンの皆様、あるいは他団体の自主防災組織の皆様、必要に応じてご自分たちの活動を地域の皆様にお知らせするという活動を、習志野市も支援させていただいている、ということがありますので、特に、自主防災組織研修というような研修を習志野市も主催しておりますので、そういった中でお披露目をして、お知らせをしていく。こういった</p>

<p>J 委員</p>	<p>ことで、自分たちの団体は何をすればよいか、ということが広がっていく。こういったことは、今後も継続的に取組を続けていきたいと考えております。</p> <p>この目標指標とか実績、これは単なる数値を表すだけで今出したのですか。</p> <p>つまり、後期基本計画というものがあって、その中身まで取ってやっているのか。あるいは今、質問があった通り、自主防災組織において数字は組織率のことと分かるけれども、中身は各自主防災組織によっていろいろな温度差があると言っていますよね。私も町会長として、うちの周りと比較したりしますので、非常によくわかる話です。</p> <p>この数値ね、例えば、9 ページのNo.13 といった重点項目などは、自然についての満足度という数字を出している。ここはあくまで利用する側の満足度、満足度は各個人の意識の問題となる。他はね、組織率だとか、いろんな表の捉え方を数値化して、どこを捉えてやっているのかわからなくなるのですよ。</p> <p>それだけではないですよ、例えばですよ、5 ページのですね、重点指標の No.5、体重を保っている人の割合はと言っているけれども、サンプル調査をしていると言ったけれども、何人が参加した数字かという話がないのですよ。単純に調査しましたというだけでね。</p> <p>そういう数字は、客観的に実績を表そうというときに、項目によってバラバラすぎて、果たしてそれで、私たちは手法としてこういうことをやってきましたと言えるのかというのが大前提なのです。そこを説明してからこれを出さないと。</p> <p>例えば、生涯スポーツ、重点指標No.2 なんかは達成率 550%、これはすごい。こんな話になったとき、本当にスポーツで皆さんが健康になっているのですか。</p> <p>たとえば長野県がやっている例とかあるでしょう。そういうものが何か反映された形で、確かに習志野市はすごいねと思われればいいですよ。これがわからない。たぶんこれは好きな方のリピートではないか。</p> <p>フットボール好きな人、バスケットボール好きな人、サッカー好きな人、全部カウントされるからこういう数字になるけれども、最終的に何のために市が、市民サービスをやるかということ。効果というものを、こういうバラバラの数値で出すのではなくて、一定して説明がないとわからない。いきなり数字の説明が始まったから、こういうところを聞きたかったのです。</p> <p>各セクションに任せて上がってきた数字なのか、あるいは重点項目それぞれで、あるところではサンプル数による数字を出したり、あるところでは満</p>
-------------	---

<p>企画政策課長</p>	<p>足度という抽象的な数字で出してみたり。説明を含めた形で示さないと、見た時、ちょっと怒るのではないかと。確かに数字が高いのはいいのですが、そういうことを感じるわけね。何のために出しているのですか。目標があるから出すというのも大事なことだけどもね。</p> <p>例えば適正体重を保っている人の割合はサンプル数をいくらで出しているのですか。</p> <p>こちらにつきましては、計画当初の実績をご説明させていただきますと、平成 16 年から平成 26 年までの 11 年間の計画で、「健康なまち習志野」の中で、計画当初の実績が 63.7%ということでした。</p> <p>こちらは実数でございまして、こちらを毎年 1%ずつ増やしていこうということで、10%増という形で目標を設定させていただいております。</p> <p>母数と適正体重との実数ということですが、平成 25 年に市民 2 千人に対して実施しました健康意識調査、こちらで回答いただきました 897 人から算出させていただいております。この調査で身長と体重を記載させていただいております、普通と判断された 623 人の割合ということで、69.5%という数値を出させていただいたということになります。</p> <p>指標の設定につきましては、確かに温度差があるということですが、私どもとしましては、生涯スポーツ利用数につきましても、年度単位で出しておりますので、19 年当時の利用者数と、今回、26 年度末の利用者数ということで、利用者が増加したという事実のご報告ということになりますので、委員のおっしゃるように、健康になった人数ということは、今後の課題として捉えさせていただいております。</p>
<p>J 委員</p>	<p>897 人のサンプル数ということで、この方の推移を見ていって、この方が、例えば 80 k g あった方が、この計画期間中に 10 k g 痩せましたよということで、要はそういうことでしょうか。今は瞬間的に捉えて比較しているから。</p> <p>例えば 19 年度からのスタートだから、19 年次に 8 百何人いた、その方が 25 年度末、その時どうなったかということをしないと。その時だけの数字ではサンプル数から統計上傾向値は出るかもしれませんが、健康のために何キロ痩せました、という数字が必要ではないのですか、ということです。</p> <p>スポーツだって同じですよ。550%なんて言ったら、16 万市民が皆やっているようなイメージになるが、いかがなものか。</p> <p>それと、満足度ですね、非常に気になるのは自然の満足度。どれだけ習志野市に自然があるのか。自然とか言っていることに、非常に危惧を感じるのです。緑地の割合は、かなり減っているのですよ。宅地化が進んで。</p>



	<p>この前、緑の基本計画の審議会をやりました。私は委員として入っていますが、その中で、藤崎の森林公園のエリアが、開発が進んだために、数値を減らしてこれから 5 か年計画ということでやるのです。ましてや奏の杜もそうです。1.2 ヘクタールの防災公園を作るけれども、全体としては減っているのです。我々は議論しました。本当に市は守る気増やす気があるのですか。</p> <p>数値目標を作るのは結構ですけれども、何のための数字なのか、常々考えているのかということをご指摘しておきたい。</p> <p>13 ページのコミュニティビジネスの話については、創業支援とか、いろいろやっていると思います。</p> <p>受講するのは結構なのです。いいですか、起業塾ですよ。理解してもらいたいのは、起業させた、つまり起業した数字がどれだけ出たかということが効果なのです。ただ講座に出て話を聞くだけで、はい聞きました、終わりました。そうではなくて、そこから学んで会社を創ろうと、創った数が習志野市で 2、3 件ありますよ、というのが基本的な効果ですよ。実績として出なければいけない。これ、講習を受けました、だけです。</p> <p>何でもそうですけども、先ほどの公民館の話もそう。そうした効果を出すために実績を出すのであれば、これ講習を受講しました、終わりました、数字はこうやって伸びました。こういうことではないですよと、このような出し方では駄目だということを担当部に企画政策部から話をしなくてはならない。これだけお金を使って、起業者が出たのですか、効果あったのですか。習志野市にコミュニティ企業が立ち上がりました。それは素晴らしいことです。しかしこれではわからない。目標 30 人でした、たった 30 人だけで目標と言っているのだからね。最終的に 25 人受けました。達成率 83%です。そんなこと自慢してどうなのだと、私はつくづく思いますよ。</p> <p>ぜひ、そのあたりの考え方を整理してもらいたい、そして出してもらいたい。そうしないと、全体の数字だけでは、効果は見えないので、それを要望しておきたい。</p> <p>会長</p> <p>数値化しやすいところと、数値が難しいところがあるのではないかと、ご指摘のまず 1 点で、数値化しにくいようなところは、先ほどの課長からご説明いただいたような形で、説明を丁寧にしていただくことが必要なのではないかと。</p> <p>起業塾に関しては、商工振興部門で具体的にやっているということですが、起業したかどうかということはいかがでしょうか。</p> <p>企画政策部長</p> <p>今、J 委員から様々なご指摘をいただきましたけれども、今回ご報告させ</p>
--	---

	<p>ていただいた後期基本計画は平成 19 年度末に策定し、25 年度末で終了しているわけですが、習志野市が基本計画上で具体的な目標数値を掲げたのは、この時が初めてでありました。</p> <p>当時の長期計画審議会の中でも、いろいろとご意見をいただきまして、成果に近いものが何なのかということについて特にご議論をいただきました。まさに J 委員はそういうことを言っておられると思います。</p> <p>アウトプットなのか、アウトカムなのかというお話がありましたが、まずは、習志野市初めての取組として、後期基本計画で一定の目標をもって、管理しながら計画を進めていくことに取り組むべきだという中で、計画を取りまとめてきたという経過がございます。</p> <p>その中で、私どもの説明が至らなかったこともありまして、解り難い部分があったことについては、委員長がおっしゃるように、新しい前期基本計画に基づく実施計画等のご報告の際には、詳細にご説明させていただきたいと思っております。</p> <p>それから、たとえば創業塾等につきましても、新しい長期計画の中で、今回は実施計画の中にそれぞれ目標値を定めています。例えば創業塾受講生、市内の創業企業数というものについても目標を定めております。25 年度末の創業塾を卒業されて、起業された方は、実質的には、2 件という数字がございます。</p> <p>こういったところに、説明が足りなかったところもあると思いますので、新しい計画の中ではご説明させていただきたいと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>A 委員どうぞ。</p>
<p>A 委員</p>	<p>今のご説明で、私もこの基本計画を見ていて、具体的な目標値を定めて検証しているのは、1 歩も 2 歩も前進されている状況だと思います。</p> <p>J 委員がおっしゃった体重のところ、統計処理されているわけでしょうから、問題ない数値だと認識します。</p> <p>ただ、より説得性を持つとすれば、たとえばアンケートに答えて下さった年齢層によっても、数値の違いが出てくると思います。そういった統計処理の操作というのは、大切になってくるのではないかと思います。</p> <p>たぶん、こういう数値目標を出して検証するという次の段階として、今後の対応方針として書かれている部分が最も重要になってくると思います。</p> <p>それも今回こういう形で提示して下さったのは、2 歩も 3 歩も良い方向に向かっているという印象を持ちました。</p>

平成 26 年度第 1 回習志野市長期計画審議会 議事録

<p>会長</p>	<p>このような形で報告がなされるというのは、習志野市としては、いろいろな問題もあるでしょうけれども、いい方向に向かって進んでいると一定の評価をできると。</p> <p>長期計画審議会で審議がなされたことについて、過去の審議会の方で、より突っ込んだ形で詳細に審議がなされていると思いますので、そういうところとも連携を強めて、データに説得力を持たせていくようなご努力をお願いしたいと思います。</p>
<p>D委員</p>	<p>9 ページのNo.14 ですが、公園・緑地とありますが、農地は緑地にカウントされているのでしょうか。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>こちらは都市計画区域面積に対する緑地という形で書かれておりますので、市街化調整区域にある農地は、算定に入っております。なお市街化区域のうち、生産緑地に指定されていないところはカウントしていません。</p>
<p>G委員</p>	<p>素朴な質問で申し訳ないのですが、一般市民から見ると達成率、これがよく解らないのです。例えば 100%の達成率というのが頭にあるわけですね。100%以上の、500%を超えるような達成率というのはよくわからないのですよ。計算式の関係だと思いますけれども、一般市民に分かるような達成率を出してもらいたいのです。</p>
<p>会長</p>	<p>マイナスが出てきたら、立てた時点より悪化しているということです。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>当初、重点指標 2 番の 550%という、こちらは私も間違いかと思ったのですけれども、計画策定時の数値と目標値、この数値の差の部分をもど埋められたかということを出していますので、生涯スポーツについては、実現率が高かったということで、設定時の数値と実際の数値、この差を目標とした数値で割り返していった数値という形になりますので、550 という数値が出てきたということです。ご指摘いただいたように解り難い部分もありますけれども、今回は、達成率につきましては、当初の数値と目標の差の部分をもど埋められたかということを出させていただいたということで、ご理解いただければと思います。</p> <p>今後の表示の仕方については勉強させていただきます。</p>
<p>G委員</p>	<p>一般市民に沿うような形で出していきたい。</p>
<p>L委員</p>	<p>今、仰いました説明はよくわかりましたが、目標値の差ということでは</p>

	<p>う。普通はそう感じない。達成率と云ったら目標率に対して何%だったかということになりますから、この委員会でさえ解らないので、一般にしたら、より分からない。</p> <p>その辺を考えていただきたいのと、未達成の場合だけに、今後の方針を書いているが、達成したものについても、なぜこうなったかという視点を書いてももらったものがあつたら、尚いいかなと思います。</p>
C委員	<p>この流れですけど、今後の重点指標はもう作つてあるのでしょうか。それはこれとは指標が変わるのですよね。だから、本来議論すべきはそこではないかな。</p> <p>この重点指標でよろしいのでしょうかというのが次の段階になると思うのだけど、そう思つてよろしいのか。</p>
企画政策部長	<p>皆さんに御審議いただいた新しい長期計画の中では、長期計画自体にこのような目標を数値化しておりません。</p> <p>このことについては審議会でも2年程かけてご審議をいただく中で説明してきたと、私どもの中では認識しておりますけれども、その分は今ご報告いたしました後期基本計画の実績に基づいて、新しい長期計画の中の前期実施計画、3年間の細かな実施計画の中にそれぞれ目標を設定して、新たに取り組むべき事業が出てまいりますので、その中で目標を設定させていただいて、進行を管理しているという流れでございます。</p>
C委員	<p>前期基本計画はこういう形ではやらないわけですか。</p>
企画政策部長	<p>前期基本計画の、まだ終了しておりませんが、1年間になるのか、3年間の実績なのかわかりませんが、長期計画審議会でのご報告はさせていただきます。</p>
C委員	<p>では重点指標の設定にはタッチしないという形でしょうか。具体的な重点指標ができていますと思いますが、皆さんで審議するといった場ではないわけですね。</p>
企画政策部長	<p>はい。</p>
会長	<p>他には。</p>
B委員	<p>私は職業柄、健康支援課の職員の方たちには大変お世話になっています。</p>

	<p>市の職員は大勢いらっしゃいますが、とても一生懸命やってくれています。市民が何か解らないことがあるとすぐ電話するので、その電話の対応が大変だという話はよく聞きます。</p> <p>それとは別に、J 委員からも長野県の話がありましたけれども、男女ともに平均寿命の高いところでございます。</p> <p>今は平均寿命というよりは、健康年齢が重視されています。健康年齢が千葉県は高いのです。千葉県は、考えてみればのどかなところですよ。私が言うまでもないのですが、千葉県は機構が穏やかでお魚が獲れたりして、今、ニュースでも豪雪のニュースも盛んに出ていますが、この辺は良い所ですよ。ちょっと余分な話ですが、やっぱり千葉県はいいところなのですよ。</p>
<p>会長</p>	<p>そういう健康年齢という見方、視点で将来的には千葉県をアピールしていただきたい。ありがとうございました。</p>
<p>H 委員</p>	<p>7 ページ、重点指標 10 の経常収支比率なのですが、要するに、未達成項目については、こういう風に進行管理して、一生懸命やりますと書いてありますが、それはそれでいいのですが、経常収支比率は正直言って厳しいですね。実際、目標に近づくどころかむしろ遠ざかったという。</p> <p>これをどうにかするには、分子を小さくするか、あるいは分母を大きくするか、あるいは両方なのですけども、そのための対応方針で、正直大変厳しい状況だと書いてあって、引き続き、業務の見直し、削減に努めるという記載がありますが、もうひとつふたつ具体的に何かできないか、という気がするのですがいかがでしょう。</p>
<p>企画政策部長</p>	<p>非常に厳しいご質問だと思うのですがけれども、経常収支比率については、適正といわれる数値が 80 と言われております。目標値は 85 ですから、適正といわれるものより少し上げた目標値を掲げているにもかかわらず達成できていない。</p> <p>習志野市が、いわゆる行政改革ということの取組を本格的に始めたのが平成 8 年当時でした。そのころから既に 90% の経常収支比率でございました。</p> <p>平成 8 年から十数年をかけて、毎年毎年取り組んできた数字ではありますけれども、結果的にはこれを下げることができなかったということでもあります。</p> <p>ここへ来て、特に、扶助費を始めとする社会保障費の増大といった部分がございますので、これ自体は、習志野市としては、経常収支比率を下げるということは非常に困難だという認識を持っております。</p> <p>ただし、やはり行政側としては、できないという目標は立てられない。</p>

	<p>1%でも0.1%でも下げたいということがございますので、それに向けては毎年毎年同じ目標ということでご批判は頂戴するかもしれませんが、市税の増収といったことも含めて取り組んでまいりたいというところがございます。</p> <p>1つだけ、例を申し上げさせていただきますと、税収を確保していくという中で、特に強化しなければならないのは、納める資産があっても納めていただけない方、いわゆる滞納部分です。</p> <p>これは、払いたいけど払えないという方と、資産はあるけど納めないという方、概ね2種類あります。生活が苦しくて納めていただけないという方については、きちんとご相談をした中で、分納といったことをご対応いただいて、少しずつ納めてもらう。資産があっても納めていただけない方については、これから法的手段も含めてきちんと対応して、納税の義務またはそれぞれの皆さんの公平感を確保していかなければならない。</p> <p>もう1年半になります、市の債権管理をする部署を新たに設けまして、その中で国税局のOBの皆さんの力をお借りしながら、いわゆる徴収強化といった部分に取り組んでいます。これは私的債権、例えば市営住宅の家賃、といったものを含め、それぞれ強化しています。</p> <p>その他、職員の事務改善を含めて、総合的に、この数字については、ますます困難にはなると思いますが、とにかく減らす努力については惜しまないつもりでございます。</p>
<p>会長</p>	<p>例えば滞納分が全部入ってきたとしたら、経常収支比率は1%位動くのでしょうか。</p>
<p>企画政策部長</p>	<p>具体的な数字は持っていませんけれども、滞納額については決して小さい数字であります。</p>
<p>会長</p>	<p>努力できる点はあるということですね。</p>
<p>N委員</p>	<p>経常収支比率という話が出ましたけれども、これは高度成長期に作られた指標で、10年前から使えないというのは分かっているのです。</p> <p>要するに、単年度の瞬間的な収支の割合だけ出している数値で、今は公会計というものがあまして、資産と負債を算定して、それによる純粋な財産がどれだけあるのかということを経務省が進めておりますので、この数値も大事ですが、これからは公会計の安定比率といったような、本来透明な資産負債が分かるような指標を使って、市民に公表できるようにこれからはしてほしいと思っております。</p>

<p>J 委員</p>	<p>恐らく、どの自治体でも経常収支比率はほとんど 90 数%なのです。          社会保障関係費が増えている中では無理な数字なので、指標を変える必要があるのです。それは今後の要望として、この指標の設定についても検討を要望します。</p> <p>ここで見解を聞きたいのは、国はアベノミクス効果があるかないか言いながら税収は伸びている。数兆円伸びている。</p> <p>その時に、習志野市だって、例えば所得税、地方税、市民税、習志野市は市民税収入は伸びているのか。国全体は伸びているのですよ。たしか 2 兆、3 兆円位くらいかな。借金は別として。ここでいうと、市税の大幅な伸びはないかもしれないけれども、そここのところの見解を。</p> <p>例えば東京に通うサラリーマン、中小企業も多いかもしれないけれども、大企業の方がたくさんいると思いますよ、マンションなども立派なところもできています。そういう意味合いで言うと、当局は、庁内で話としてはどういう傾向を見ているのですか。</p>
<p>企画政策部長</p>	<p>今、確かな数値的なものは、私はお話しできないのですけれども、平成 27 年度の予算編成に取り組んで、最終を迎えております。</p> <p>その中で、いずれ議会にご提案させていただくこととなりますけれども、27 年度当初予算編成の段階では税収は伸びている。微増という形ですけれども、伸ばした中で歳入と歳出のバランスを取っております。具体的な数字は分からないのですけれども、税収自体は伸びています。</p> <p>それと、習志野市の財政構造の中で、いわゆる市税に係る部分、これは市民税、法人市民税等々でございますけれども、この税金が歳入全体に占めている割合は 6 割位ございます。これを自主財源と言っておきまして、その他 4 割程度を国からの補助金といったもので賄っています。</p> <p>こういったことを考えると、習志野市自体は、税収はしっかり確保できている。</p> <p>ではどこで経常収支比率が高くなるのかということは、扶助費等の伸びということと、その他の事業にお金がかかっている。その辺りを市全体として認識しなければならないということで、これが経営改革ということになっていく。</p> <p>この先ですけれども、平成 37 年位までの人口推計ということになっておりますが、ご承知のとおり奏の杜の開発等含めまして、人口はここ数年は伸びる傾向だと考えています。その傾向に合わせて税収も少しずつ伸びていくということは財政構造の中では考えております。</p> <p>ただし、いずれ頭打ちの時が来まして、17 万人程度で頭を打って、それか</p>

	<p>らは下降をたどりますので、平成 50 年の見込みでは、今の 16 万程度に戻ってくるという見込みであります。</p> <p>その前提で今回の基本構想基本計画を策定させていただいておりますけれども、そういった中でいかに税収を確保していくのかということについては、少し長期的なスパンをもって考えていかなければならない。これから国は地方創生ということがありますので、習志野市もいかに人口を定着させて、若い人たちが子育てにしっかり取り組んでいる都市をどのように作っていくのか。</p> <p>今般の国の補正予算でも地方創生に係る交付金が支給されるということになりましたけれども、そういったものをしっかり使って、次年度以降、いわゆる総合戦略といわれる部分に取り組みながら、習志野市も人口定着等、活性化に取り組んで行きたいと考えております。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、では他に。</p>
<p>I 委員</p>	<p>はじめに戻るのですけれども、まずNo.1 の主要生涯学習事業参加者数のところ。公民館講座、市民文化祭、市展、第九演奏会といろいろ書いてあるのですけれども、未達成理由が「平成 25 年度に市民文化祭の規模が縮小され、参加者が減少したことが要因と考えられる」と書いてあるのですが、今後文化協会の組織を強化させていくことによって、増えるのか。その辺に疑問があるのです。内容を充実させたから参加者が増加を見込めるのかな、と思うのですけれども、もう少し対外的なことを増やしていった方が組織の強化につながっていくのかな、と思います。</p> <p>写真以外わからないのですが、写真は学生もやっています。新しく入ってくる方で若い方でもカメラを所持している方もいらっしゃいますし、そういう方に PR するには、回覧板から掲示板、そういうものをどんどん利用活用していった方が増えるのかな、と。</p> <p>No.6 の社会福祉協議会支部活動利用者数の方で、地域福祉フォーラム。これに関しても全く同じことが言えますよね。町会等で事業やっていると、こういうのは回覧板でしかわからないのですけど、正直それを知っている方がほとんどいない。回覧板で廻っているものが今特定されてきてしまっていて、イベント等一般の方も回覧板に回せないという現状がたまに出ているのですけれども、うちの近くだとゆうゆう館でいろいろな事業をやっているのですけれども、全く知らない。こういうパターンがありますので、回覧板等々を回すような、末端かもしれませんけれども、そういうところもうまくやっていった方がいいのかな、と思います。</p> <p>それと、No.2 の主要スポーツ施設利用者数に関して、先ほどパーセンテージ</p>



	<p>ジをいろいろお話しになっていましたが、目標数と決定数ということで、数値は今お持ちですか。市内野球場、まともに使える野球場は1つしかないのです。それでいてパーセンテージが増えたというのは、野球は全く関与していないのかな、と正直思うのですね。ということはこれ全体を量ると、余りにもいい加減な数字になっているのかな、と感ずるので、今後客観的に教えていただいて、これからの生涯スポーツ部門の糧にしていただければと思います。また後日教えていただければ結構です。</p>
<p>会長</p>	<p>数値を教えてもらいたいというのは、施設毎でどうであったかということですか。</p>
<p>I 委員</p>	<p>実質野球がどれだけ増えたのかな、というところが知りたかったのです。</p>
<p>会長</p>	<p>目標設定時には、各施設からの数値を集約したのですか。スポーツ施設、テニスコートとか、サッカー場とか野球場とか。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>利用者数につきましては、計画策定時の 19 年度というのは実績ですので、それぞれの施設の積み上げという形では数値は出ています。</p>
<p>会長</p>	<p>そういうご希望もあるというところを考えてください。</p>
<p>I 委員</p>	<p>それと自然環境保全のところ、No13 自然についての満足度、こちらは達成率 13%と出ていて、未達成理由がアオサの発生が駆除できなかったということで、今後の対応策の中で地域との連携、保護団体との連携ということがありますけれども、今回指定管理者が変わったということで、1 からやっっていかなければならない。</p> <p>そうすると来年度は、まず信頼関係の醸成から入って行かなければならないので、実際にできるのかなというのがかなり懸念するところなので、この辺は来年どうなるのか不安がありますけれども、対応方針はもうちょっと市民に即した形の方がわかりやすいのかな、と思いました。</p> <p>その下の「美しい都市環境の創造」で、No14 緑地の割合なのですが、これ未達成理由が理由ではないのですよね。結果であって、なぜ進捗しなかったのか、というのが伺いたいのですが、担当課がないからわからないですよ。そういうところがあると思いますので、これは書き方を変えた方がよいのかなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、それでは、次の議題もありますので、時間の都合上、この辺に留め</p>

	<p>たいと思います。事務局におかれましては、貴重な意見もあったと思いますので、本日頂いたご意見をぜひ参考にさせていただいて、現在進行中の、前期基本計画のP D C A改革に活かしていただければ、と思います。</p>
<p>会長</p>	<p style="text-align: center;"><b>報告事項(2) 市内 3 大学の学生と習志野市長との意見交換会について</b></p> <p>続きまして、報告の 2 点目は、「市内 3 大学の学生と習志野市長との意見交換会について」です。それでは、事務局の方から説明をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">＜資料 2 に基づき企画政策課長より説明＞</p>
<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>A 委員が途中退席されたのですが、今回の意見交換会にご尽力していただき、本来は一言いただきたかったのですが、所用のため退席されたので、残念ですが、御協力いただいたということだけ申し上げておきます。</p> <p>F 委員、一言、いかがでしょうか。</p>
<p>F 委員</p>	<p>この件につきましては、千葉工業大学では、学科長会でも大きく取り上げられまして、学内でも評判がよく、とても有意義な時間だったと、担当した先生からご報告いただいております。</p> <p>また、学生にとっても勉強になりますし、自分のアイデアを担当教員だけではなくて、大学の外に向けて、市長に直接話ができるというのはとてもいい機会だと思います。社会に出た後の勉強になる機会だと思います。</p> <p>退席された A 委員も聞いたところでは、日本大学の会では司会をされたと伺っておりますが、よかったと聞いています。</p>
<p>会長</p>	<p>私の方（東邦大学）も、学園祭だったので、落ち着いた環境での意見交換会ではなかったのですが、資料にありますように、非常に和やかな雰囲気を出そうということで、サークルを作った形で、文字通り市長を囲んで、学生の提案を聞いていただいて、質疑応答も非常に活発に行われ、学生にとっては社会に自分の意見を発信できるという非常に良い機会を得たと聞きましたので、今後も今回のことを踏まえて、発展的に継承させてほしいと思います。</p>
<p>C 委員</p>	<p>これ、実践できそうなものもたくさんあるのですけれども、市長からご指</p>

	<p>示は出ていますか。</p>
企画政策課長	<p>まずナラシドルームということで、ホームページ上にナラシドの部屋を作ったらどうかという提案を頂いております、この運営形態についても関係部署で協議を行っているところでございます。</p> <p>また、実際に袖ヶ浦の団地再生につきましても、今回ご提案戴いたのは学生寮としての活用を含めてというお話ですが、こちらにつきましても、そういった観点から活用できないかというところで、現在協議を行っているところです。</p>
D委員	<p>防災無線の提案も使えればよい。こういったことを使って、市民に聞きやすいようにすればよい。</p>
C委員	<p>いつも議会でも問題になっているのですよ。外に聞こえない。</p>
D委員	<p>提案していただくのですが、市の方でも検討して使えるものは使えば、学生もやりがいがあると思うのです。</p>
L委員	<p>防災無線は必要性が高いと思います。議会だけではなくて市民の間でも言われています。</p>
会長	<p>そういう意見を積極的に汲み上げていただいて、実行に移していただきたいと思います。</p> <p>これは予定としては、次年度以降もあるのでしょうか。あるいは何年毎とか。</p>
企画政策課長	<p>次回、あるいは今後どういう形にさせていただくかについては、担当部と大学とで、今協議をさせていただいておりますので、今のところ未定というところでございます。</p>
会長	<p>それでは以上で市長と 3 大学との意見交換会についての報告は終わりたいと思います。</p> <p>それでは、本日用意してありました議案についてはその 2 つですが、お時間の都合上、この辺に留めたいと思います。</p> <p>最後に、事務局から何かございますか。</p>
企画政策課長	<p>本日は長時間にわたり、ありがとうございました。来たる 4 月に統一地方</p>

## 平成 26 年度第 1 回習志野市長期計画審議会 議事録

会長	<p>選挙がございます関係から、議員選出の委員の皆様におかれましては、今回が任期中最後の長期計画審議会となります。これまでの審議会の運営についてご協力いただきまして、事務局より、この場をお借りしまして、御礼申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>議会選出の委員の皆様におかれましては、2年間お疲れ様でした。それでは、本日の議案は滞りなく終了いたしました。ご協力ありがとうございました。本日はこれにて閉会致します。委員の皆様におかれましては、長時間に渡り、ありがとうございました。</p> <p>閉 会 11 : 45 終了</p>
----	--